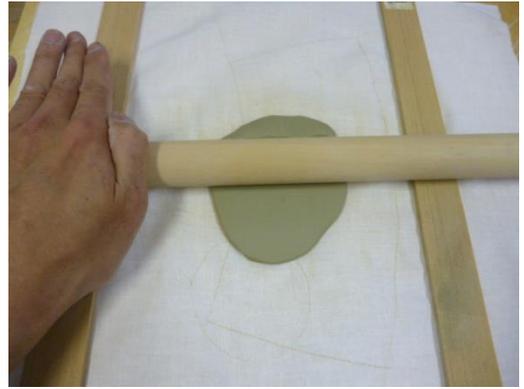


石膏型をつかったマグカップのつくりかた



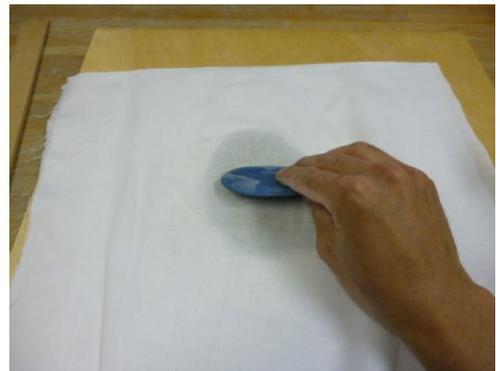
①平らな板の上に布を敷き、粘土をたたき伸ばしていきます。このとき、厚さを5mm以下にはしてはいけません。



②5mm厚のタタラ板を両サイドに置き、のします。



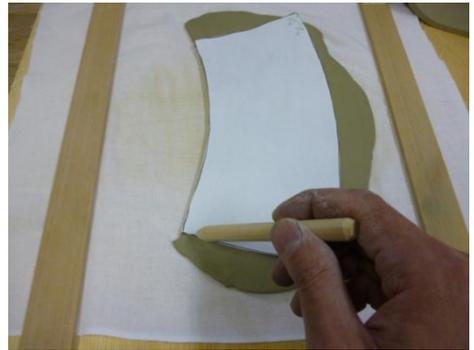
③布を掛け、両面を砂袋でたたきます。



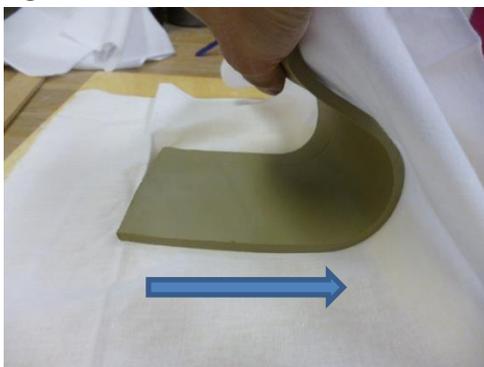
④たたいた後はゴムヘラなどでならします。



⑤型紙をあてて、針でカットします。



⑥側面も①～⑤の流れで作成します。この時、布と粘土はくっついた状態にしておきます。



⑦布ごと粘土を図のようにスライドさせるように曲げてクセをつけます。2回行います。ゆがみが少なくなります。



⑧石膏型に片栗粉をふりかけます。粘土の型離れが悪い時には側面に新聞紙を巻き付けます。

Sapporotougeiマグカップ①



⑨粘土を図のようにななめにおしつけます。ここが「のりしろ」になります。



⑩のりしろを少量水をつけた歯ブラシで磨き、泥をつくります。この泥がのりの役割をします。



⑪くっつけます。このとき粘土の余分が多かったら針で切りとります。つなぎ目を手できれいにならします。



⑫底の粘土の部分にも泥をつくり底をくっつけます。



⑬同様につなぎ目をきれいにならします。カップの裏側を想像してつなぎ目がありそうなところは少し強めに押し付けます。仕上げにゴムベラなどを使っても良い。



⑭仕上げに板の上をコロコロさせても良い。ただ、だんだん広がっていくので加減して。



⑮細いひもを巻き、引っ張り、口縁をカットする。



⑯ロクロを少量の水でぬらす。
Sapporotougeiマグカップ②



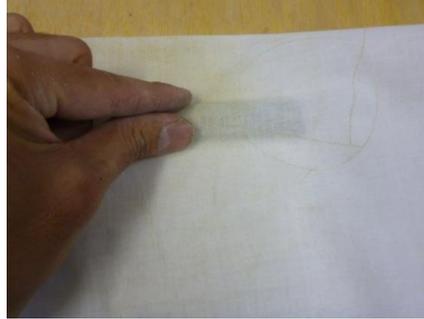
①⑦カップをロクロにすりつけて固定する。出来るだけ中心に。



①⑩水をふくませたセーム皮で口縁をはさみ、ロクロを回してカドを取る。



①⑨取っ手づくり。5mm厚の粘土を型紙とおりにカットする。



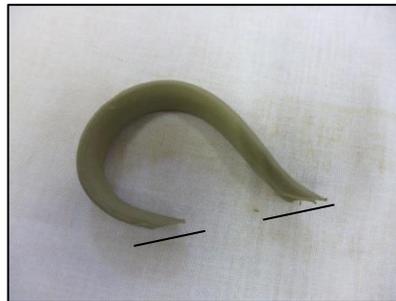
②⑩布をかぶせて、指を三角にしてすべらせ、カドを取る。両面行います。



21、図のような形にします。



22、切弓で両端をななめにカットします。カットしたところがのりしろになります



23、このような形にして少し乾かします。すぐつけては取っ手が重さで落ちてきます。



24、「のりしろ」に泥をつくつくつけます。



25、「のりしろ」を押し付けたり、指でならしたりして、仕上げます。



26、最後に底の中心をほんの少し(1mmくらい)押し、へこませます。この部分が乾燥の具合などで盛り上がる場合があります。そうすると、ガタツキがあるカップになってしまいます。



27、完成です。